

それいけ! 社協



高鍋社協広報誌
no.9 2023.9



PICK UP お話を伺ってみました。

ボランティアに、 出かける人。

仕事でも遊びでもなくて、何か夢中でやり遂げたい気分！
そんな時は地域のボランティアに参加してみてもはどうでしょう。
現場のみなさん、とってもイキイキされてます。



ボランティアをしようと思ったきっかけは？

たかなべふくし塾、お膳部ボランティアなどに参加する中で
「まちなかコラボ」子ども食堂の活動に興味を持ちました。

活動をして良かったと思える時は？

ボランティア仲間との新たな出会いもあり、子ども食堂に集
まれる方々の笑顔と「作る」「食べる」が私自身の励みになっ
ています。月に一度楽しい交流の場です。

コラボ食堂：毎月第4土曜、まちなかコラボにて開催



押川 美津子さん
by お膳部

Let's GO Volunteer!

杉 美保子さん
by まちなかコラボ(コラボ食堂)



小村 泰三さん
by オレンジカフェ はまぼう

ボランティアをしようと思ったきっかけは？

私の人生でボランティアをやろうと思って始め
たきっかけは、正直ありません。たまたま70
歳で仕事をやめた時、地域の自治会長と民生
委員をやることになったことに、それが当ては
まるでしょう。何故なら、自治会活動そのもの
が、誰彼の差別なく「地域住民の為」であり、
ボランティア活動で成り立つからです。

活動をして良かったと思える時は？

83歳になった今、それを振り返ると、もしそ
の自治会活動の7年間でなかったら、今、こ
れほどの心豊かな人生は無かった気がします。
人の為に自分の能力を使うと、いつの間にか
その人との深い交友ができて、人生そのもの
を豊かにできることに尽きるのです。

ボランティアをしようと思ったきっかけは？

友人が関わっていて、応募しようという気持ちで参加しました。
頑張っている人たちを見てすごいな〜と感心し、活動参加が
増えていきました。自分たちの住む地域への理解を深め、で
きることから始めてみようと思いました。

活動をして良かったと思える時は？

いろいろな人たちとの出逢いがあり感謝しています。ボランティ
アをするのが、うれしい楽しいです。今までで自分も手助け
をしてもらってやって来ました。つながりを絶えず恩返し出来
たらと思います。今後も裏でそっと支えていきたいです。

お膳部：毎月第3木曜、宅食を目的に老人福祉館にて開催



オレンジカフェ はまぼう：毎月第3木曜、老人福祉館別館にて開催

お問合せ 高鍋町社会福祉協議会(事務局)
☎ 0983-22-4076 fax 0983-23-5365



地元農家 竹原祐光さん

お膳部には、社協の広報誌を見て知人が協力していた事を知り、それがきっかけで提供するようになりました。サツマイモ、ニンジン、里芋、じゃがいもを時期ごとに提供しています。なるべく農薬を使わず、安心安全な作物を作っています。食べ方としては、サツマイモでしたら、甘さを引き出せる「焼き芋」がおすすめです。



寄付品

サツマイモ

地域からのいただきもの。



寄付品はお膳部の活動へ
あてられています。

寄付品

冷凍餃子

地元企業 馬渡餃子さま

高鍋のために何かできることはないかと考えていた時に、高鍋町社協から声をかけてもらいました。「これだ!」と思いつぐに協力させていただきました。地域で育てていただいた餃子で地域貢献できないかいつも考えています。



新役員紹介

社協役員を
よろしく
お願いします。



(後列左から) 高鍋商工会議所代表 / 福岡 直樹、児湯農業協同組合代表 / 長谷部 将一、民生委員児童委員協議会代表 / 秋月 種郎、自治公民館連絡協議会代表 / 飯干 幹雄 (前列左から) 監事 / 兒玉 あつ子、高鍋町副町長 / 小山 圭一、会長 / 岩崎 信や、監事 / 山本 泰英

会費や寄付、募金の使われ方

戸別寄付

高鍋町の世帯一戸ごとに「戸別寄付」としていただいております。

社協会費

一戸あたり 480円



受付期間：毎年6月末

住民参加による地域福祉の推進、ボランティアの育成や活動の推進、福祉機器やフードバンク等、福祉のまちづくり推進などに使われています。

歳末たすけあい募金

一戸あたり目安 200円



受付期間：毎年12月

新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、民生委員による慰問活動や品物贈呈を行っています。

赤い羽根共同募金

一戸あたり目安 600円



受付期間：毎年10月～12月

町内の各種団体において実施される事業の助成金として使われたり、たかなべふくし塾（防災対策等の講義）の開催、災害発生時に使用する備品の購入、社協の事業を知っていただくためのまつりイベント事業などに使われています。

とくし 篤志寄付

一般会員会費とは別に、個人様、法人様、団体様から高鍋町の福祉活動へのご協力の寄付をいただいております。

きめい 忌明け寄付

香典返しとして、高鍋町の福祉活動へのご協力の寄付をいただいております。

会費等の受入窓口

高鍋町社会福祉協議会 事務所

高鍋町役場 福祉課

解決
たっしげ君

第7話 たかなべふくし塾編



脚本：かこ

たかなべふくし塾



この塾は、身近な事から取り組める活動をみなさんと共に考え・学び・成長し、色々な情報を知り、少しでも早期対応（はじめの一步）が出来るようにと考えています。地域の問題を解決するためのヒントや、住み慣れた地域で助け合いのできる環境作りのお手伝いとなるよう、より良い街づくりを目指した取り組みを行っていきます。



随時
受付
随時受講できます

参加
無料

今後の日程	テーマ内容
8月4日(金)	ヤングケアラーのために出来る事「気づく・つなぐ・支える」
9月29日(金)	「人の生きるべく道」
10月26日(木)	知っておきたい食品表示
11月24日(金)	災害ボランティア運営訓練
12月26日(火)	DVD鑑賞 / 中村哲『荒野に希望の灯をともし』 / まとめ・修了式

申し込み・問い合わせ先

TEL：0983-22-4076 FAX：0983-23-5365
高鍋町社会福祉協議会（担当：石井）



高鍋町社会福祉協議会の財務情報は
ホームページに掲載しております。

今回の取材は、感染症予防対策をしっかり行いつつ、撮影時のみマスクの着用を控える形で取り組みました。ご協力いただきありがとうございます。

発行 社会福祉法人 高鍋町社会福祉協議会
宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋 300 番地 ☎ 0983-22-4076
令和5年9月発行